

横田滋写真展

めぐみさん家族と過ごした13年

2024年

9月3日(火)～9月8日(日)

10:00～19:00 ※9月8日は17:00まで

足立区拉致問題啓発事業

▲足立区

めぐみちゃん 家族の メッセージ

入場無料

場所

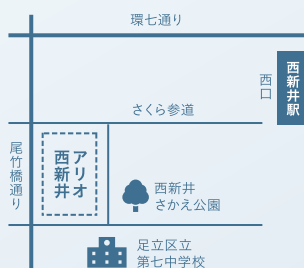
アリオ西新井1階
イベント広場

(足立区西新井栄町1-20-1)

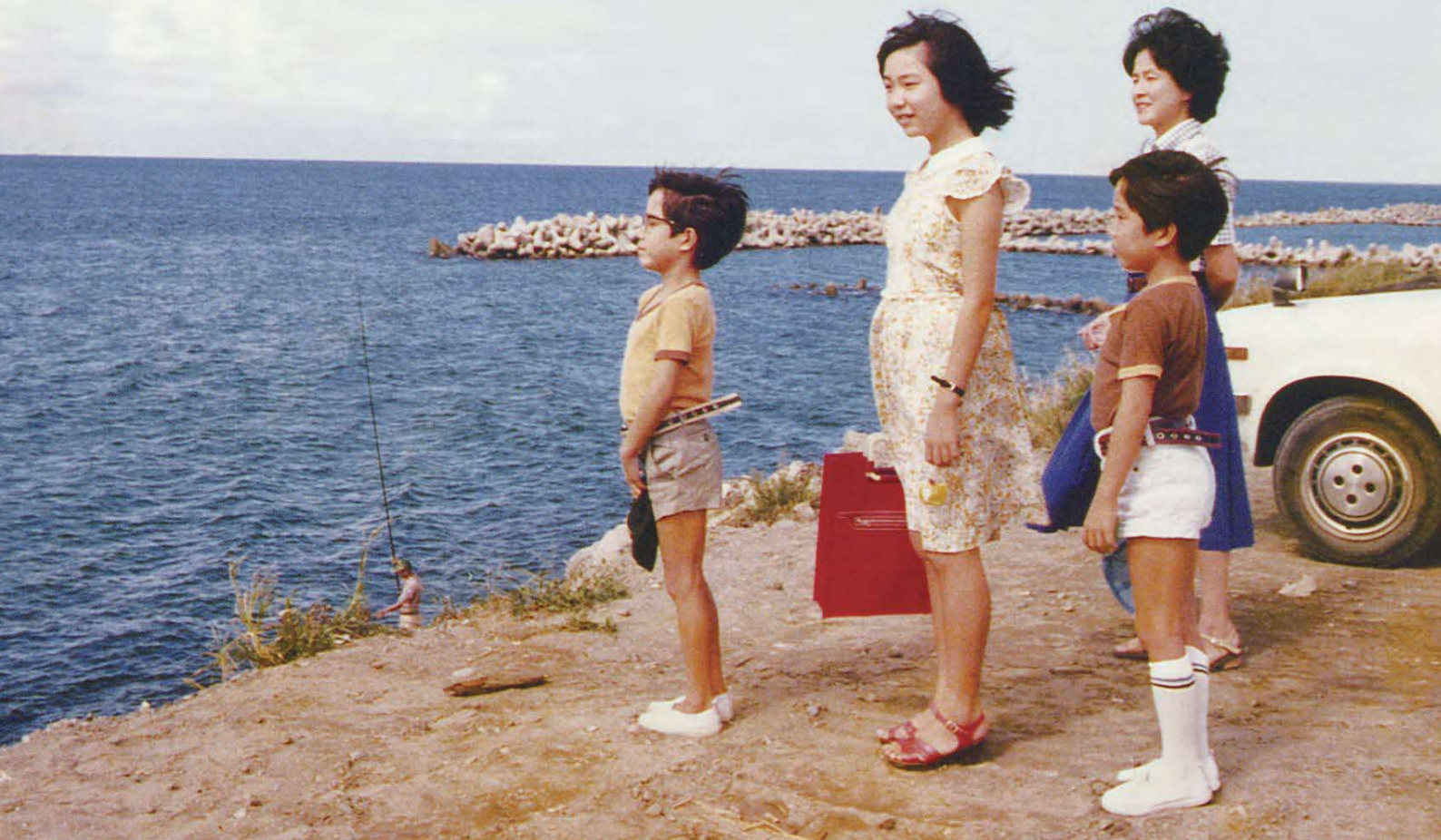
主催:あさがおの会・足立区

共催:朝日新聞社

後援:東京都・埼玉県



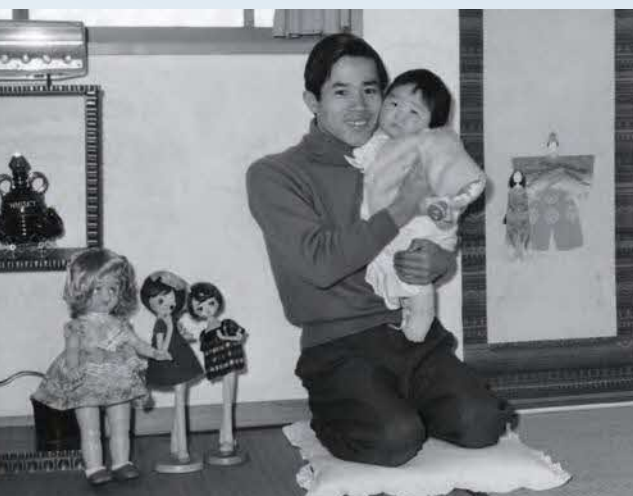
広島から新潟に引っ越すと、海が珍しくて、みんなで見に行った。
1年後、この海岸近くでめぐみさん(写真中央)は姿を消した。



家族みんなで楽しんだハイキングや旅行、夏の夜の花火大会。横田めぐみさんとご家族の幸せの記録は、お父様の滋さんが撮る写真とともに積み重なってきました。それが突然途切れてしまったのは、1977年、めぐみさんが中学1年生のとき。学校からの帰宅途中に拉致され、家族のもとから引き離されてしまったのです。

それから47年。めぐみさんをはじめ拉致被害者の帰国に向けた目立った動きがみられない中、被害者の家族は高齢化が進み、2020年6月には滋さんが逝去されました。

東京23区北東部で初開催となる本展では、滋さんが生前に撮影した「家族のかつての幸せだった時間」と、めぐみさんの思い出の品を公開。めぐみさんの輝いていた13年間の記録とともに、ご家族が苦しんでこられた年月の長さ、一刻も早く娘を取り戻したいという横田滋さん・早紀江さんご夫妻の願いをご来場の皆様にお伝えします。幸せな時間を奪われた滋さん・早紀江さんの悲しみや憤りを自分の事として感じていただきたいと思います。



生後5ヵ月のめぐみちゃんを抱いて。1965年3月、名古屋市の自宅で



特急列車で旅行へ。カメラを向けると、いつもひょうきんな顔をして、みんなを笑わせていた。1973年山口県内で(小3)



みんなで家族旅行へ。めぐみちゃんの洋服はお母さんの手作りだ。1975年、山口県萩市で(小5)



お母さんの故郷・京都への旅行。京都国立博物館を見学した。1976年、京都市の同博物館前で(小6)

